
昭和こじょう会便り

40号

2005年6月号



(土鈴作り風景)

— 目次 —

- | | | | |
|------|------------|-----|----------------|
| p 2 | 40号発行にあたって | p12 | クラブ便り |
| p 3 | 新役員挨拶 | | ・リズム体操 |
| p 4 | 活動結果報告 | | ・グラウンドゴルフ |
| p 5 | 活動レポート | p14 | 自由寄稿 |
| | ・早春の東山散策 | | ・トルコ旅行記 |
| p 6 | ・八事山ウオーク | p16 | ・中国新事情 |
| p 7 | ・東区文化の道を歩く | p18 | 俳句 知立散策 |
| p 8 | ・土鈴作り初体験記 | p19 | ニュース 鯉城会 etc |
| p 9 | これからの活動計画 | p20 | ご意見募集 (ボランティア) |
| p 10 | 生き生き熟年 | | 編集後記 |

発行：名古屋市高年大学鯉城学園 ～昭和鯉城会

40号発行にあたって

昭和鯉城会会長（17期）辻 慶明

平成17年度の昭和鯉城会の運営は去る4月8日の総会で決まりましたように、17期、18期の役員で行われる事になりました。

今回昭和こじょう会便り40号をお届けします。

4月より6月にかけての行事は4月『八事山を歩きませんか』、5月『東区文化のみちを歩こう』、6月『ノリタケ工場見学』等盛りだくさんの行事が行われました。また『土鈴作り』も5月、6月に延べ3回行い、多数の参加が有りました。有難うございました。

今後、夏に向けて7月『アサヒビール』、8月『区民まつり』と『福祉まつり』、9月『昭和区散策』と行事の企画を立てております。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。

昭和鯉城会の会員総数は171名を数えますので、中々親しく話し合う機会も少ないかと思いますが、すこしでも楽しく出会える企画を考えますので、ぜひ多数の参加で知り合いを増やして、友人作りを楽しんでください。

以上

新役員挨拶

平成17年度の役員会のメンバーは17期、18期の19名と諸先輩8名で運営する事になりました。

今年は『愛知万博』の年で、私共役員の中にもボランティアに参加したり、地域の活動等に参加し、公私共に忙しく致しておりますが、日程を調整しながら昭和鯨城会発展のために、微力ではございますが努力する所存でございます。

昭和鯨城会の会員数も150名から171名に増え喜ばしい事です。

これからは役員一同協力して皆様に喜んでいただける様、心をこめて行事遂行に当たってまいりますので、会員の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

末筆になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念しつつ新任の挨拶とさせていただきます。

平成17年6月

昭和鯨城会新任役員一同

お知らせと訂正のお願い

総会の際に決まりました新役員のうち広報委員に選出されました内藤逸平さんが都合により大野敏博さんと交代されましたのでご了承お願い致したく。なお4月の総会の資料の中の一部の役員の電話番号が間違っていましたのでお詫びして訂正いたします。さらに資料配布ルートについても役員及びブロック委員の一部に変更がありましたので添付の資料をご参照ください。

活動結果報告

<平成17年4月より6月の主な活動>

*会議

- 4月 1日(金) 4月度役員会
- 4月 8日(金) 平成16年度昭和鯨城会年次総会開催
- 4月11日(月) 鯨城会代議員会出席(会長、佐々副会長)
- 4月20日(水) 鯨城会にて地域活動申請要領説明会(佐々副会長)
- 4月21日(木) 鯨城会幹事会(可児島副会長)
- 4月28日(金) 鯨城会区会会長会議(会長)
- 5月12日(木) 5月度役員会
- 5月13日(金) 区民まつり実行委員会総会(会長)
- 5月23日(月) 鯨城会幹事会(可児島副会長)
- 5月25日(水) 社会福祉協議会第31回評議委員会(会長)
- 6月 3日(金) 6月度役員会
- 6月16日(木) 鯨城会幹事会(可児島副会長)
- 6月20日(月) 鯨城会区会会長会議(会長)

*行事

- 4月29日(金) 八事山を歩こう会
- 5月19日(木) 東区文化の道 散策
- 5月26日(木) 有志による土鈴制作会(第1回)
- 6月2日(木) 有志による土鈴制作会(第2回)
- 6月23日(木) 有志による土鈴制作会(第3回)
- 6月10日(金) ノリタケの森見学会

*その他

- 6月23日(木) 『本部鯨城ニュース』5号受領
 - 6月24日(金) 『昭和こじょう会便り』40号製本、配布
- 以上

《早春の東山散策》に参加して

17期 (園芸) 片山 義郎

高年大学昭和鯉城会主催の散策会は去る3月18日(金)春まだ遠いと思わせるような肌寒い日でしたが、東山植物園と万葉の散歩道を総勢15名の会員で楽しむことができました。

東山植物園では女性3名のボランティアガイドさんにご案内を頂きました。ボランティアさんの言われるのには「私たち数人居りますが、植物が本当に好きで喜んでやらせてもらっています。」とのことでした。

植物園の温室内には昭和12年3月開館当時に植えられた植物が12種類もあるそうです。一部ご紹介しますと ①クロツグ(ヤシ科) ②チャラン(千両科) ③カラタネオガタマ(モクレン科) ④ピンポン(アオギリ科) ⑤ミカンゲツピン など

万葉の散歩道では紅梅、白梅が満開で甘い匂いがただよってきました。椿園では曙、尾張侘助、妙蓮寺などの品種が満開で数人のカメラマンが盛んにシャッターを切っていました。

4月末頃に咲く「寒咲きあやめ」は紫の花を付けてきれいだとか。今一度訪れたいと思いました。約1時間の散策ではありましたが、心が和んだ1日でした。

以上



「八事山ウオーク」に参加して

6期（文化） 春日井 正幸

みどりの日（祭日）の恒例行事の一つに昭和区役所主催ならびに昭和鯉城会も協賛参加している 八事興正寺の周辺をさわやかウオークする「新緑の八事山を歩きませんか」がある。

例年よい天気恵まれるが、今年もふさわしい快晴の天気となった。地域の皆さん、子供会、家族づれ、また昭和鯉城会の皆さんも多数参加され賑わった。今年午前10時30分駐車場横の小公園に集合し、主催者のごあいさつ、準備体操をした後、隊列を組んで例年のコースに向けて出発した。

例年のコースは木造塔で重要文化財指定の「五重塔」前広場からの出発だが、今年小公園からの出発となった。市内に今なお残っている原生自然林の中を、足元を気遣い森林浴の心地よい雰囲気、友と談笑しながら歩く。丘陵地をうねり歩きし「奥の院」へ到着する。「奥の院」へ参詣、小休止後またしばらく歩くと自然林地帯を通り抜け、やがて「大日殿」（大日如来坐像安置）前広場に着いた。

ここでは毎年仲秋の名月に千灯供養が行われ「柴燈大護摩」の行事がある。名月を觀賞しながら多くの参詣者で賑わう広場である。「大日殿」に参詣し、さらに玩具など専門店「といざらす」横の街道に出て、中京大学グラウンドに向けて歩いて行くと、昭和鯉城会顧問として尽力された（故）伊藤 治郎氏自宅の前を通る。友と共に故人のご冥福を祈りながら通り抜け、そして住宅展示場を右側に見ながらの道路をまた興正寺の「観音堂」に向かって歩いた。

やがて「観音堂」や鐘楼を通り「八事福祉会館」前の急な下り坂をおりると八事山一周を終え、出発地へ着く。ここで主催者から完歩賞を受領し、あと自由解散となった。

歩いた距離は約3.5キロ、所要時間は約40分程で、歩こう会の人々にはもう少し歩き足りないかも知れないが、一汗かいた心地よさは充分味わえた。

楽しい一刻を過ごせたことに感謝しながら、友と共に帰路についた。

以上

「東区文化の道を歩く」に参加して

6期（文化）

人見 春江

5月19日参加者29名で東区文化の道を歩きました。市役所前の本通りから一筋中に入った撞木町、白壁町あたりは閑静な住宅地で緑も多く新緑の中をまず旧豊田佐助邸へ、ガイドボランティアの方の親切な説明に耳を傾け、兄佐吉氏の片腕として業績を残された往時に思いを馳せました。和洋折衷の邸宅、なかでも鶴にトヨタの文字をデザインした換気口や天井装飾、襖絵など実業家として活躍されたと同時に建築の面での心くばりが各所に見られ感心させられました。

次に近くの井元邸を訪ねました。大正時代陶磁器貿易商として海外との交流も盛んであったとのこと。玄関の佇まいはアジア風の雰囲気があるように思われた。しかし庭の一角には茶室を設け、和室の障子窓越しに庭が一望できるなど当時の起業家達の屋敷町として撞木町界限が閑静ななかにも活気があふれていた様子が偲ばれました。

そして愈々川上貞奴邸へ。もともと東二葉町にあったので近所の人々から親しみを込めて「二葉御殿」と呼ばれていたとのこと。赤い屋根瓦が人目を引き和洋折衷のモダンな建物。大正9年の創建後、修復、改造されたりしたが今回出来るだけ創建時の姿に戻すことに努力され現在に至ったとのこと。日本の女優第一号として海外で活躍し、パリ万博ではマダム貞奴として名声をはせ更に電力王-福沢桃介との生活など展示室には当時の調度品と愛用の品々など女優として又事業家としての生活ぶりが偲ばれました。特にステンドグラスの見事さ、そして螺旋階段など和洋折衷のモダンな家で政財界や文化人のサロンとして多くの人々との交流など螺旋階段を眺めていると、にこやかな美しい貞奴が立っているような錯覚を覚えました。

今回このような機会を得て、先人達の偉業と「文化の道」の貴重な建築遺産など私たち市民が大切に保存活用し、次の世代にバトンタッチをしなければならぬと感じました。

以上



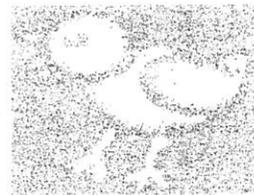
土鈴作り初体験記

18期 (国際) 菅 和世

昭和鯨城会に入会して、ようやく先輩の方達とも親しくなれた6月2日、区民祭り、福祉祭りに協賛のための土鈴作りに初めて取り組むことになった。粘土細工？は小学生の頃学校で工作の時間に何かを作った記憶はあるものの、どうなることやら。下準備は先輩の専門家の方が用意してくださり、机を並べたりバケツに水を汲んだり雑巾を絞って並べたりのお手伝い。さていよいよ本番、最初に小さく丸めて作られた鈴玉を新聞紙にくるんで丸める、それを薄く四角に切られた粘土で包み込むようにして、思い思いの土鈴に整えて行くのである。

私は今年の干支にちなんで鶏の形にしようとしたが中々思いどおりには行かない。とさかが薄っぺらになって出来た時に折れるかもしれないような出来上がり、何とか下部に溝をあげ、上に紐通しの穴を作ってホット一息、一人2個ということで2作目はひよこに挑戦、少し馴れると何とかひよこらしい型になったかなと自画自賛。後は窯で焼き上げて子供たちが色を塗って仕上げるのだとか。最後の出来上がりがどうなるのかは出来上がってのお楽しみ。楽しい半日の作業であった。

以上



これからの活動計画

7月から9月までの行事予定をお知らせします。

詳細も決まっておりますので、下記の情報とチラシをご覧の上、ぜひご参加下さい。参加はいつでも自由で、事前予約の必要はありません。

** 7月22日 {金} 竜泉寺とアサヒビール見学

大曽根駅ゆとりーとラインに9時45分集合し竜泉寺参拝、アサヒビール名古屋工場を見学します。

** 8月6日 {土} 区民まつり {鶴舞公園}

昭和区主催の恒例の区民まつりにボランティア団体として協賛参加します。今年は16時より20時30分まで、土鈴の絵付けと会員有志の厚意の寄贈陶芸作品のチャリティー販売を行います。ぜひお越し下さい。

** 8月21日 {日} 福祉まつり {区役所}

区社会福祉協議会主催の福祉まつりに上記区民まつり同様の活動を行います。本年は10時より15時30分まで行いますので、ぜひお越しください。

** 9月22日 {木} 昭和区散策 {御器所台}

地下鉄荒畑駅改札口9時30分に集合し、昭和区案内人つきで『荒畑より御器所』にかけて約2時間の散策をします。

* 趣味の作品展 {ポケット・ギャラリー} への出展のお願い *

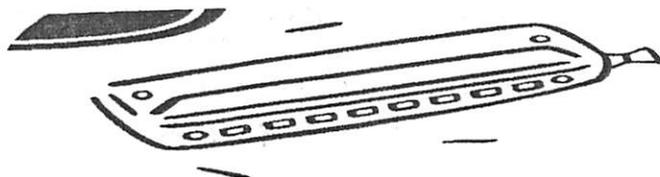
本年も去年に引続き、第3回作品展を10月14日(金)より3日間ポケット・ギャラリーで行います。この作品展は絵画・書・陶芸・写真・刺繍など会員有志の趣味の作品を持ち寄り展示するものです。会員の皆様、日頃研鑽された作品を出展くださるようお願いいたします。出展申込みはまずは幹事にお電話ください。(添付のチラシを参照ください。)

お元気な会員の近況をご紹介します。

- ①楽しみや生き甲斐について(生活、趣味など)
- ②健康について(何かしていること)
- ③読者の方に一言

9期園芸学科卒 栗田 龍彦さん(川原学区) 郷土史研究クラブ
(昭和3年生まれ)

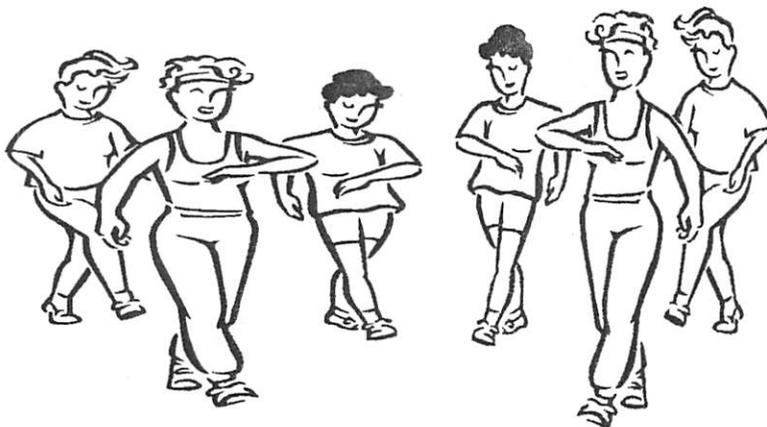
- ① 女房の死後、独居老人の沈みがちな逆境より立ち直らせてくれたのが『ハーモニカ』でした。
今は専ら老人養護施設、生涯学習センターなどに、演歌を主に演奏し自分自身の生き甲斐を感じています。ハーモニカを吹いていると嫌な事、不愉快だった事を全部忘れてしまい、これが私の健康の源になっているのではないのでしょうか。
- ② 寝込んだらお終いと思い(気弱な男だと笑ってください)、早め早めの医者通いをしています。運動はこれと言ってなく毎日の我が家の庭木の見廻り、手入れ(剪定消毒)と掃除および毎週のグラウンドゴルフを楽しんでいます。
- ③ 夫婦と言っても死ぬ時は別々、あつと言う間の出来事です。男から言うとなら先立たれるほど惨めな事はない。大方の男性は家探しが下手ですから、特に預金通帳、印鑑、保険の証書など生前に重要品の仕舞い場所は話し合っておくべきです(へそくりまでとは申しませんが)。



**編集部より一言——栗田さんは毎月の行事に殆どご参加頂いております。これも健康の一助になっているのでしょう。

1 2 期美術学科卒 大鹿 文義さん (鶴舞学区) ビデオ研究クラブ
(昭和7年生まれ)

- ① 学校、会社、地域社会を通じて多くの友人を得、その交流の中から趣味も広がってきました。
- 私の趣味は写真、ビデオ撮影、旅行、山登り、絵画、パソコン等等、間口は広いが奥行きのないのが特徴です。
- なかでも絵画は1 2 期美術学科 OB の『一二美会』のメンバーとして月2回の教室、年2回の絵画展を落ちこぼれないよう頑張っています。また我流で覚えたパソコンのインターネットEメールで多くのメル友と楽しんでおります。今では中国の友人とメール交換し国際化してきました。いずれも決して上達しない、中途半端ながら楽しんでおります。
- ② 毎朝5時起床し、6時過ぎから鶴舞公園内でラジオ体操、ストレッチ体操、太極拳、園内散策と約1時間の運動が日課の始まりです。これらは退職する2年前から健康管理のため生活習慣として定着させることで始め、今年で10年続けています。
- このほか、昭和鯉城会の週1回のリズム体操とグラウンドゴルフに参加しております。
- これらを今後の健康維持のため長く続けるよう日々努めてまいります。
- ③ 最近友人や親族の訃報が年々増えてきました。我々の年代ではこれから新しい友人を増やす機会は少なくなってきました。今の友人を大切に、友好の機会を作り積極的に参加することが必要と考えています。



昭和鯉城リズム体操クラブニュース

近況報告

代表 14 期 近藤 勇雄

前 3 月号にてご報告しました体操協会発表会で会長賞を受賞し、会員一同大変喜びましたが、当クラブの発足 3 周年記念と、会長賞受賞祝賀を兼ね、3 月 23 日（水）浩養園でパーティーを開催しました。出席者はこれまでの最高 86 名で盛会でした。事務局の皆様大変御苦労様でした。

さて 4 月に入りクラブの事務局員の交代がありました。過去一年間は 16 期の皆さんに勤めていただきました。この一年間はユニホームの新調、体操大会のリハーサル、本番と多忙でしたが本当によく頑張ってくれました。特に会計を担当していただいた佐藤敏彦さん、二人の木村さんご協力有難うございました。

会長賞を頂いたがどこがよかったのかと西川先生と話をしておりましたが先生はゴム体操が受けたのではないかと話しておられました。長者町でゴムを見つけたのは 16 期の木村きみ子さん、功績大です。佐藤敏彦さんをはじめ 16 期の皆さん、一年間御苦労様でした。厚くお礼申し上げます。

4 月以降は代表は小生、副代表に辻慶明さん、会計に近藤里美さん、その他 17 期全員で事務局を勤めて頂いております。辻さんは昭和鯉城会の会長さん、近藤里美さんは広報委員長で、お二人とも大変ご多忙の方です。しかし昭和鯉城会の幹部の方が体操クラブに入っていただく事は鯉城会の運営にもプラスになると思っております。一年間よろしく願いいたします。

18 期の入会者は 9 名で 4 月 13 日現在会員数は 124 名になり、当分新入会員の受付は止めております。

会の運営は極めて順調で毎週水曜日の午後にやっていますが、最近は出席率が上がり毎回 80-90 名が出席して体操を楽しんでおります。

最後に今年一年新体制で運営して参りますのでよろしくご協力のほどお願いいたします。

以上

グラウンドゴルフクラブニュース

平成16年度昭和鯉城会グラウンドゴルフ大会報告

報告者 17期文化B 永田 祐千

年度納めで恒例となっている表記につきまして去る3月8日(火) 9時30分から名古屋高速吹上高架下広場(ミニスポーツ広場)において、24名が参加して開催しました。

世話人代表光崎俊男さんのご挨拶とルール説明を受けたあと、8ホール全部を使って各組一斉にスタートし、風もない絶好のコンディションの下で適度な運動に楽しくプレイできました。

競技の後、会員寄贈の缶コーヒーに喉を潤しながら成績発表と商品授与が行われました。

上位入賞者とスコアー

順位	氏名	スコアー	順位	氏名	スコアー
1	渡辺 忠	35 (2)	6	大鹿文義	43
2	日比昭満	40 (1)	7	永田祐千	43(1)
3	吉村卓次	41	8	長戸俊郎	45
4	国松篤美	42	9	佐治正夫	45
5	大沢花子	43	10	栗田龍彦	45
			11	後藤林造	45

ホールインワン賞受賞者は 神田史郎(1)

(注) スコアーの()印はホールインワンの数

(敬称略)

同スコアーの場合生年月日の早い人が上位

以上

トルコ旅行記

14期園芸 近藤 勇雄

本年3月末より4月上旬にかけてトルコを旅行してきました。

編集部よりその旅行記を書くよう依頼され、不十分な知識しかなく、しかも通りいっぺんの旅行ですので余りご参考になる点が少ないのはご容赦ください。

トルコ人は親日的です。治安も安定し旅行中危険を感じた場所は皆無でしたし、イスタンプルの有名な商店街でも自由に買い物を楽しむことが出来、この国の良さを実感しました。

トルコは黒海（本当に黒い海だそうです）とエーゲ海を結ぶボスフォラス海峡でアジア大陸の西の端とヨーロッパ大陸の東の端に分かれます。この地区イスタンプルは経済の中心地で現在人口1,400万人です。首都はアンカラで人口700万人です。

旅行の行程はイスタンプルからマルマラ海沿岸を南下し、エーゲ海のリゾート地を経て内陸に入り世界遺産のカップドキアを見学し、アンカラから夜行列車でイスタンプルに戻るという行程です。

トルコは地図ではさほど大きな国とは思えませんでした。バス旅行をしてみるとかなり広い国という印象をもちました。農地も広く小麦が大部分で米もとれるそうです。家畜は羊が主体で牛もおります。

トルコは農業国の実感をもちました。国の総人口は7,000万人、99%がイスラム教徒だそうです。観光客はヨーロッパ人が大部分でそれもエーゲ海沿いのリゾート地クシヤダスが有名です。なかでもドイツ人が多いそうです。これはトルコ人300万人がドイツに出稼ぎに行っていることと関係が有るかも知れません。エーゲ海はきれいな海で日本でも船旅が人気を得ている事がよく判ります。

トルコは日本と同様地震国です。有名な史跡はみな石と煉瓦でできていますし、エジプトの砂漠と異なり雨が降ります。地震の回数を見ますと、例えばイスタンプル地方では紀元後1500年の間に9回あり、そのたびに神殿をはじめ町全体が破壊され、その修復作業の繰り返しです。従って案内された各地の史跡も満足な形で残っているものはありません。数千年前の大きな町はこんな形かと想像することになります。

(次頁 エフエソス遺跡の写真参照)

ただ世界的にも珍しく、見事なところはカッパドキアと言う所です。アンカラの東南にあり、地質学上でも世界に類を見ない不思議な景観がひろがります。火山灰などの堆積層を削った大規模な地下都市が建設されています。山を要塞とし、9階建てに迷路を作り食料倉庫、井戸を掘り、外敵に対し1万5千人が立てこもったそうです。

トルコの歴史はローマ帝国の時代、ナポレオンの時代、ペルシア時代、いつの時代にも巻き込まれています。島国日本では想像できないきびしさです。こんなことまでして国を守ってきたのでしょうか。

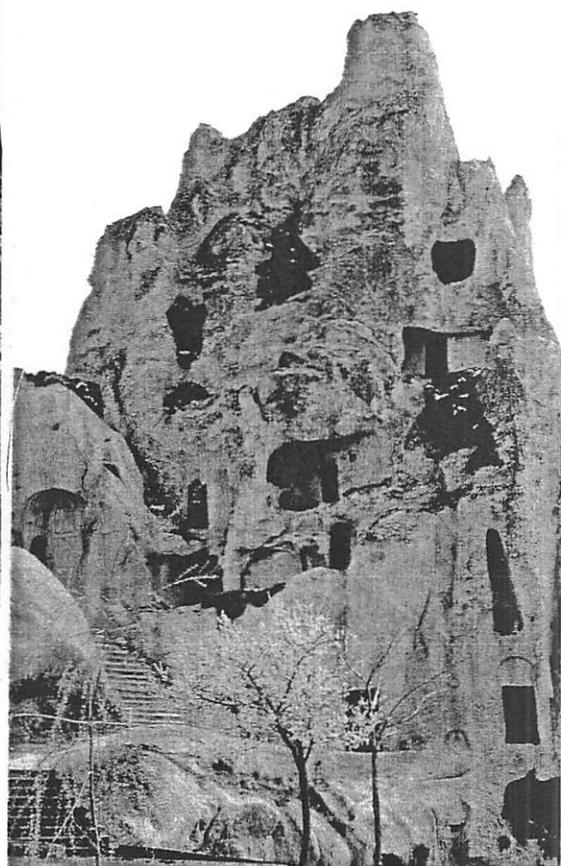
(下の カッパドキアの山の写真参照)

トルコには大塩湖という珍しい塩水の湖があります。それも内陸でトルコ第二の大きな湖です。塩分が多いので一切の生物は生息していません。万博会場にこの湖の水を運んでこられたことをテレビで見ました。

最後にイスタンブルについてふれます。イスタンブルはアジアとヨーロッパの交わる港町として古くから栄えてきました。非常に活気に満ちた大都会で、港をクルージングしても大変きれいですし、ホテルも数多く立派に整備されています。町の中心に大きな土産物の商店街があり値段は表示してなく交渉次第です。革製品がトルコ土産だそうです。

ここの買い物は陽気で活気があり結構面白いものでした。

以上まずまず無事に帰ってこられてヤレヤレでした。ご報告は以上です



(上) エフェソス遺跡
(右) カッパドキアの山

中国新事情

17期文化B 神田 史郎

北京で反日デモのあった4月9日、私は奇しくも日中交流太極拳旅行で北京空港にいました。反日デモのニュースで日本では大騒ぎ、私たちの身が大変心配していたようでしたが、私たちは各地で、熱烈歓迎の快適な旅を続けていたのです。13億人の大国です。ごく一部の人の行動があたかもすべてのように思われがち、私たちは正確に判断しなければならぬと痛切に感じました。以下訪問した西安、北京で感じたことを述べたいと思います。

◎ 西安の表情

正に建設ラッシュ、オリンピックに備えてか道路の拡張工事、ビルの建設と大繁忙、しかしくになったことは交通渋滞です。乗用車、二輪車、自転車、歩行者がお互い交通ルールを守らず、勝手な行動をしている。これは正に中国の恥部であり、オリンピックで来た外人がどんな感想を持つかが心配です。

西安は紀元前から秦、漢、隋、唐などが3千年にわたって栄華を誇った町です。西の城門に上がり、ここからシルクロード、天竺へと旅立ったかと思うと感無量、安部仲麻呂もこの城門に登り、祖国の空を眺め懐かしんだことでしょう。

兵馬俑を見て秦の始皇帝の権力の絶大さに圧倒されました。1974年に発掘されたが幸運にも最初に発掘した人と直接話すことができました。現在6,000体整備されているが、資金不足のためまだまだかなりの数が未整理です。どこの国も文化事業には資金が回らないのは同じですね。

ホテルでの対応の素晴らしさは以前に比べ様変わりです。広いロビーの一隅でバイオリン二胡による生演奏があり、我々日本人が入館すれば日本の曲を演奏します。又専属の太極拳指導者がおり、毎朝7時より希望者に太極拳を教えています。トイレもすべて洋式のウォシュレットで心配無用です。

偽者と分かっている本物の様に「翡翠」の印材だと言って無料でくれるという。有り得ないことだから一種の言葉の遊戯くらいに思えば問題ないでしょう。有名ホテルの売店では掛け値がないのが常識ですが、中国は別で値段の交渉は言い値の三分の一くらいから切り出さないと後から後悔します。しかし値段の駆け引きは楽しいものです。

◎ 北京の表情

幹線道路の素晴らしさ、高層ビル群の出現には目を見張るものがありま

す。社会主義の国だから、容易に土地が収用できる利点でしょうね？
交通道徳も良く守られ、西安とは雲泥の違いです。法律で色々規制され、
例えば二輪車の乗り入れは禁止されています。ドイツ製の乗用車が最も
目立ちました。ただ一步裏に入ると昔の中国が存在します。舗装されな
い道、露天、自転車、バイク、歩行者が混在し、中国に住んだことのあ
る私にとっては非常に親近感があり、懐かしさを覚えました。

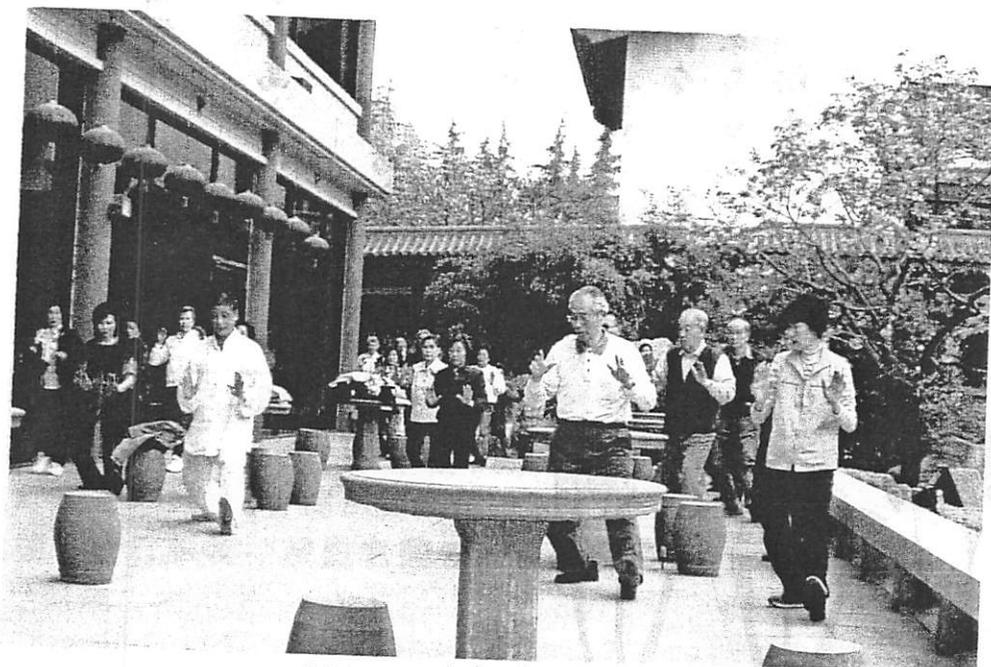
天安門広場は世界最大の広場です。反日デモの直後だったので一応心配
したのですが、雰囲気的には全く何も感じませんでした。他の多くの中
国人と中国語、日本語を交えて会話もできました。もっとも当局の配慮
で不祥事に備え警官が3名ほど私たちを警備してくれました。

万里の長城は八達嶺から登りました。特別の計らいか、通常で入れな
い登り口近くまでバスが入り、長城が楽に見学できました。故毛主席が
「長城に来ずば豪傑にあらず」と述べた 6,700 kmに及ぶ長城です。何度
登っても素晴らしい所です。秦の始皇帝が 30 万人の軍兵と数百万の農民
を動員して完成させたものです。逆説的に言えば農民の血と涙の結晶で
しょうね。

太極拳の日中交流会では素晴らしいドラマを作りました。中国側は精
華大学の郭恵珍助教授の他、各クラブの指導者 15 名参加し、私共は 32
名参加して、先方は陳式太極拳を、私共は楊名時太極拳を夫々演舞、最
後に郭先生より陳式太極拳の指導を受けました。夜、全聚徳（北京最高
の北京ダックの店）で日中交流の夕食会、中国の国会議員相当の人も挨
拶に来られ友好の実績を挙げることができました。

日中相互の誤解がとけて一日も早く、真の日中友好の時代が訪れるこ
とを念願する次第です。

以上



ホテルで太極拳（西安）

俳句

知立 散策

石橋 政雄（十七期環境）

一 宝蔵寺

こぼるるや 追腹塚の 柿の花

二 小松寺

あやめ咲く 子より高きに 祖風墓

三 牛田城

三角の 牛田城碑や 葱坊主

四 来迎寺城跡（今崎城）

田植花 さむらい塚の 石荒び

五 無量壽寺

業平の 顔輝けり 杜若
遣り水の 音絶え間なし 杜若
あんまきの 茶店立ち寄る 杜若
杜若 萎むや姫の 供養塔

平成十七年五月二十一日



ニュース

*鯨城会ニュース

- ①今年は鯨城学園創立20周年を祝して記念行事を実施します。詳細は追ってお知らせします。
- ②平成17年度鯨城会会長に井戸一三郎氏（千種区16期文化A）が就任されました。
- ③本年度より各区より幹事を1名鯨城会へ送り出す事になりました。（従来は4区につき1名）
- ④昭和鯨城会関係者で本部鯨城会役員は下記の通り
区会代表者、区会代議員 辻 慶明 会長
区会担当幹事 可児島 英夫 副会長
代議員（17期園芸学科） 佐々 三男 副会長
総務委員 菅 和世 書記兼総務
監事 川辺 昂 前期総務委員長

⑤公開講演会のお知らせ

演題 『堀川の歴史と現状』
講師 小塩洋三氏（17期地域学科）
日時 7月7日（木） 13:30-15:00
場所 鯨城ホール5階（伏見）

*訃報

石黒 博正さん 8期文化（松栄吹上） 3月31日ご逝去
樋口 進さん 2期文化（鶴舞） 5月13日ご逝去
謹んでご冥福をお祈りいたします。 合掌

*会員名簿の厳重管理のお願い

ご承知の事と存じますが、本年4月施行の法律『個人情報保護法』にて個人データの厳重管理が義務付けられています。ついては、今回**会員名簿**の改訂版及び**役員名簿**の改訂版を会員のみにお届けいたしますが絶対第三者に漏洩したり、コピーしたりしないように各人の責任で厳重管理お願いいたします。なお4月の総会の時に配布しました会員名簿については各人が完全破棄くださるようお願いいたします。

ご意見を募集します

☆☆☆ボランティア☆☆☆

昭和鯨城会として活動を始めるに当たりどんなことを、どんな風に行ったらいいか？ 万博など会員の皆様の豊富な経験から素人でもできる手軽なボランティアを出来るだけ多くの会員の参加を得て継続的に実行したいと思えます。どんなことを、どんなやり方で始めたらよいか 教えていただきたく。どんな小さなことでも結構です。まず、始める事が第一です。それから皆様の経験とアイデアで軌道を修正しながらで良いと思えます。会員の健康的な生活にも役立ち、かつ社会にも貢献できればハッピーではありませんか。

去る4月総会の際に『ボランティアの勧め』と題してお二方より貴重なお話をいただきました。生活に、カルチャーに、スポーツに、旅行になど皆様お忙しいとは思いますが、60有余年この世に生きてきて、また生かされてきて、少しでも社会にお役に立つことが出来ればこれ程気分の良い事はないと思えます。小さなことから始めましょう。何なりとご意見をメモにしてお近くのブロック委員 または 役員まで お電話ください。メモを頂きにお伺いします。よろしく お願いします。グッド アイデアを頂いた方に薄謝進呈します。

なおブロック委員、役員の方へお願い申し上げます。会員より上記の如くご意見の連絡があった場合は『いつお伺いしたらよいか』双方のご都合を打合せ早めにメモを入手し、ボランティア検討委員である可児島、桜井、菅、遠藤のいれかにお渡し願います。

編集後記

愈々4月の総会終了を期に昭和鯨城会の役員会も17期、18期を中心に顧問の先輩のご指導の下でスタートを切りました。会員数も171名と大幅に増加しました。先輩方の築かれた他の区に負けない優秀な伝統を汚すことなく、更に会員のご希望、ご意見を取り入れ、昭和鯨城会に入会して良かったと思われるような会の運営、こじょう便りの発行に微力ながら精進しますので よろしくご指導、御協力のほど お願いいたします。こちらもご意見お待ちいたします。

昭和鯨城会会報「昭和こじょう会便り」40号

発行責任者： 辻 慶明
編集委員： 近藤 里美 可児島 英夫
吉田 一郎 大野 敏博
後藤 昇三